

巨大地震後も 大好きな故郷に住み続けたい

安価で合理的な被災住宅の復旧・耐震化を考える

主催：国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター

共催：東海圏減災研究コンソーシアム

後援：能登復興建築人会議、一般社団法人住宅医協会、NPO法人達人塾ねっと

令和7年

2月1日

13:00～17:00

名古屋工業大学 NITech Hall
(名古屋市昭和区御器所町) 定員200名
YouTubeLive配信あり

要事前
申し込み
参加無料
お申込は
こちらから



被災木造住宅の復旧・耐震化支援シンポジウム

元旦に発生した能登半島地震では木造住宅を中心に揺れによる大きな被害が発生しました。建物の倒壊は多くの人命と財産を奪うだけでなく、早期の生活再建が進まなければ、地域や集落の消失にも繋がる危機的な状況にも直面します。本シンポジウムでは、被災した木造住宅の早期再建と生活支援に向けて継続してきた取り組みを紹介し、今後想定される南海トラフ巨大地震に最大限備えるための最新情報の共有を目的とします。

基調講演

インスタントハウス開発秘話と被災地支援活動報告

名古屋工業大学大学院教授

北川 啓介

パネルディスカッション

早期生活再建に向けた被災木造住宅の復旧+補強

(株)えびす建築研究所代表取締役

花井 勉

能登復興建築人会議

林 正人

エコワークス(株)熊本オフィス

宮木 寛信

能登町役場復興推進課

下谷内哲次, 朝川 千春

能登半島被災住宅の所有者のみなさま、ほか

コーディネータ 名古屋工業大学高度防災工学研究センター長 井戸田秀樹



北川啓介：名古屋工業大学大学院教授、能登半島地震発災翌日から能登入り、インスタントハウス200棟以上を被災地に無償で届け、生活支援に尽力

2月2日（日）9:30～12:30 建築士・工務店向けワークショップ「被災住宅の復旧と耐震改修技術の普及に向けて」@名工大 EPSON Studio ワークショップは事前申込不要 お問合せ：idota@nitech.ac.jp